

問題 1

問題 1 の文章は、自由主義経済のもとでの経済の調和的発展を実現するためには、どうしたらいいのかということ、漁師の仕事ぶりをたとえとして用いながら、論じている。

問 1 ～ 問 3 に関する採点講評

問 1 ～ 問 3 は、抜かれている問題文の一部に、著者が考えているであろうことを推論して、はめ込むことを求める問題である。したがって、文章全体を熟読して、著者の考え方を把握してはじめて、解答を書くことができる。問 1 ～ 問 3 では、解答者自身の考えを述べることが要求されているわけではないにもかかわらず、自説を展開している答案が多かった。それでは、問題の趣旨を理解しているとはいえず、得点することができない。

問 4 に関する採点講評

設問は、小泉内閣の政策により生じた国民における所得格差の原因を、「筆者の主張する経済理論に即して理由を述べなさい」というものである。したがって、解答者としては、まず筆者の経済理論がどのようなものを問題文の中から整理し、これを小泉内閣の政策として行われたこと、行われなかったことにあてはめて、どこに筆者の経済理論とは異なる点があったかを指摘することが求められている。

筆者の経済理論によれば、オリンピック方式のような規制が設けられることにより、競争に歪みが生ずると富の最大化が阻害されるので、規制を廃止し、競争促進をすることによって富(所得)は最大化する。そして、その結果生ずる、競争敗者に対しては、競争により増大した富を分配し直すことにより格差は解決されるべきであるということが述べられている。

この経済理論を小泉内閣の政策にあてはめて考えると、規制緩和と競争促進政策がとられたことにより、確かに競争勝者において富が増大するという経済理論どおりの結果が生じたが、その富を国家によって分配し直すための政策が十分にとられなかったことに格差が生じた原因があるということになる。

解答者の答案においては、筆者の経済理論とは別の、個人的な問題意識に基づいて、格差が生じた理由を述べ、批判しているものが多かったが、そのような解答は、「理論の事実へのあてはめ」によって、筆者の論理から導き出されるべき結果を記載すべきことを求めている出題の趣旨には適合しない。

問題 2

問 1 に関する採点講評

1. 問題文中の「エージェンシー」という言葉は、「エージェンシーとしての達成」や「エージェンシーとしての自由」という表現として示されている。このことから、それ自身が「価値」そのものを示すものではないのは明らかである。正確には、「自分の周囲にいる人々の願いを自分の使命として引き受ける引受人」が正解であるが、問題文から読み解いて、この点まで記述している答案是極めて少なかった。そこで、自分自身の福祉に結びついているか否かにかかわらず、当人が実現しようとしている目標や価値を追求することに関する記述があれば、加点した。
2. 社会的弱者保護を行おうと考えている弁護士の例について、具体的な社会的弱者像を提示して議論する記述が少なかった。答案を書くときには、より想像力を働かせて、出題者の意図を読み取った解答が求められていることを、肝に銘じてほしい。

問 2 に関する採点講評

1. 法曹は、規範を定立し、事実にあてはめる作業を常に行わねばならない。本問では、問題文が提示している規範を明確に整理し、それを具体例にあてはめる能力を問うた。
2. 本問は、「エージェンシーとしての自由」「エージェンシーとしての達成」「自分自身の福祉のための自由（以下、「福祉自由」と略す。）」および「自分自身の福祉の達成（以下、「福祉達成」と略す。）」の関係を問うものである。しかし、それぞれの関係について場合分けし、いずれが上がるか、いずれが低くなりうるか、相互の関係を明確に記載できている答案是少なかった。とりわけ医師の例と犯罪予防の例の双方について、関係を例示できていなかった。出題にそって各種の関係を整理し解答した答案是加点した。
3. 具体的には、同じ福祉内においても、自由と達成はいつも連動するとは限らない。医師の例のように、エージェンシーとしての自由と福祉自由の双方が上がるのに、福祉達成が下がる場合がある。他方、自由と達成が同様の動きをし、エージェンシーと福祉が反対の方向に動く可能性もある。犯罪予防の例のように、エージェンシーとしての自由と達成は両方とも上がるものの、福祉自由と達成は下がる可能性もある。
4. 以上の関係を、医師の例と犯罪予防の例に具体的にあてはめて説明して欲しかった。例えば、医師の例では、先進国において所得が向上した段階では、たくさん買い物ができる福祉自由と達成があがり、遠い国に行く手段ができエー

ジェンシーとしての自由も向上する。他方、途上国で生活することになった場合は、エージェンシーとしての達成は向上するものの、その国の生活水準の低さのために、福祉の達成は下がる可能性が高い。また、犯罪予防の例では、犯罪予防に貢献するとエージェンシーとしての自由もエージェンシーとしての達成も向上するが、それにより負傷した場合、福祉達成は低下する。福祉自由は、尻込みして逃げ出すことが可能な場合でも、身の安全を確保することが危ういため下がりうる。こうした具体例を想像し、それを描写できた解答に加点した。